

図書波だより

第 59 号

平成11年12月28日
愛媛大学附属図書館

目	次
「公と私」について…………… 1	図書館の刊行物について…………… 6
CD-ROM「Agricola」(WebSPIRS)の 使い方…………… 3	本館からのお知らせ…………… 7
インターネットで利用できる農学文献 データベースについて…………… 5	医学部分館からのお知らせ…………… 7
図書館を利用するためのQ&Aコーナー (その3)…………… 6	附属図書館委員会…………… 8
	図書館日誌(会議, 研修)…………… 8

「公 と 私」 に つ い て

花 山 洋 一

原稿を依頼された時、本・雑誌に載る情報をどのような形で得ているのか、と考えてみました。まず、図書館のホームページに載っている情報の検索を行いました。『図書波だより』では図書情報に関する話題や利用方法が紹介された記事が目につきます。愛媛大学に関する情報以外に、他大学へのリンクや多くの文献情報のデータベースへのアクセスも用意されています。その内いくつかを実際に試してみましたが、目的を達した項目もあるものの、途中で迷子になる場合もあります。このように多数の情報が電子媒体を通じて公開されていても、それを十分に使いこなすには未だというのが実際の状況ではないでしょうか。このように公に公開されている情報についてもそれを取得する段階では、手段についてそれを取得しているかどうかによって個人々々に対し公平なものでなくなります。い

まここで私はあえて「公」という語を使わせて頂きましたが、「公」について手許の国語辞典を引いた所、①おおやけ ②かたよらない ③社会一般 ④広く通じること と記されています。これらについてここで述べていきたいと思います。

はじめに、公的な存在である図書・館における「公」について考えてみたいと思います。書を扱う施設として、県立等の公立図書館は他の公立施設に比べ親しみ易い存在であり、多くの利用者で館内が満たされいろいろな形で利用されています。このことは国会図書館に行った時でもその開放性につき同様な感じを抱きました。また、書店もその一つと見なされ、多くの立ち読みの客で店内が混雑しています。それらにおいて情報は公開され、多くの情報を得ることが可能です。大学附属図書館の開架室が多くの学生で埋められていま

す。しかし、大学図書館は関係者以外には閉ざされた存在であります。大学における図書は言うまでもなく公共物です。また、得られた情報や産み出されるものも公共物です。従って、開かれた大学という観点にたてばこれからの積極的な公開が求められます。今後市民にも開かれた形での運営が要求されるものと思われまます。

先日、私はある大学の図書館を訪れ、その内部の設備を見学させて頂きました。その図書館はまさしく開かれた図書館を唱え設立・運営され、職員の方も十分に対応して頂いたのですが、それでも大学教官の私でさえ入館の手続きを取る際に若干の心理的な圧力を感じました。ましてや一般市民であればより強く戸惑いを持つのではなかろうかと思えます。ここでも大学図書館の公開・市民との交流にまだまだ垣根があるように思われます。

ところで、大学において産み出される物とは何でしょうか。①研究と言われる「知」②「知」の整理・蓄積および伝達③「育」とされる「知」の再生産ないしその準備。以上の3点が挙げられると考えています。その結果、莫大な生産物が大学内に集積され、情報という形で蓄積されている。図書という面で見ても、大学には多量の図書が蓄積されています。私たちは生産物すなわち情報を扱う図書・館の果たす役割を考えていきたいものです。図書館には生産され蓄積された情報としての図書と利用する場としての(図書)館の2つが並列して存在していると考えられます。

しかしこの生産に関し発想・展開について必ずしも公的とばかりはいえず、私的な側面を多く見ます。それは研究の展開に私的な興味が必要であり、それが強い推進力になっています。このことは研究室の図書においても同様であると思われます。大学にある図書のかなりの部分は研究室にあります。これらは公的な要請で集積されたものではありません。多くは教官一人一人が行う研究・教育上の必要性から購入されたものです。たとえ、

始まりにおいて「私」であっても、現在は公的な存在となっている筈です。従って、公開され多数の人に利用されることが望ましい形態と考えられます。以上述べたように、大学内においては公と私に混在した状態にあるというのが適切ではないでしょうか。そのため、ある場所では凝集された形として存在しても、別の場所とは相互に関連性が低く散在しているといえるでしょう。

このように私として存在することが必然であり、それらの多数の集合体が大学であります。それらを如何に関連付けて公するか。そのために情報の開示が必要になってくる。この場合の公は私という個人が利用でき、公平なものである必要が求められます。すなわち、情報のデータベース化と標準化です。さらに情報検索の方法が確立されることが望まれます。

この情報を利用するのは私であり、私が生産するものは公である筈です。このようにして図書館という運営体の枠内に図書を媒介とした公と私のネットが出来上がります。図書という情報源が有効に機能するように館が運営されることが望まれます。そのため運営において運営側と利用者側の十分なコミュニケーションが必要なことは、それが両者の共同作業の上に成立するからであります。しかし作業の過程で互いに寛容でなければならないと考えます。なぜなら、図書館の存在が大学内の全学部にわたり、かつ学生を含めた全構成員が利用する最大の共同施設であるからです。

最後に、公(おおよけ)には従来より国家・官庁や公家などにも用いられ高きものとされる場合があり、そのため公のおごりや公に対するおそれがあることも否定できません。私たち公務員はどちらでしょうか。このような立場を取らないように自戒せねばならないと考えています。

(はなやまよういち 工学部機械工学科教授)

CD-ROM「Agricola」(WebSPIRS)の使い方

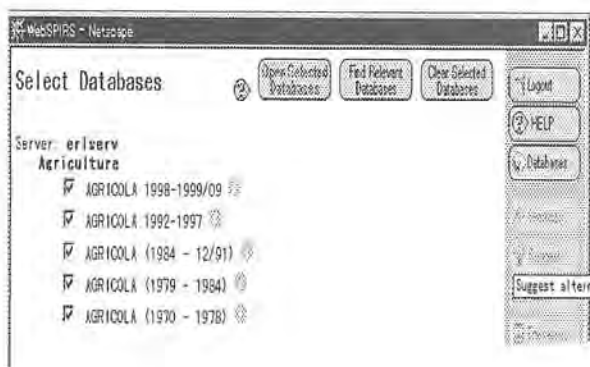
1. Agricola

Agricola(AGRICultural OnLine Access)は、アメリカのNational Agricultural Libraryが作成する農学関係の文献データベースで、雑誌記事を中心に圖書の文献も含まれます。

収録は1970年からで、収録件数は1999年1月現在、約350万件となっています。CD-ROMは、年4回データ更新されています。

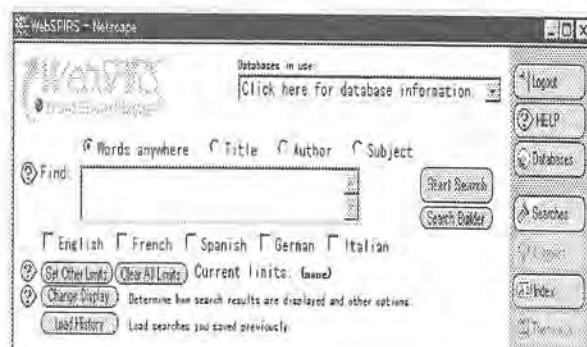
2. 接続方法

- (1) 図書館ホームページの「学内限定サービス」をクリックします。
- (2) "Ehime University Library Information System"の3. CD-ROMサーバ情報検索 AGRICOLAをクリックします。下記の「Select Databases」の画面になります。



3. 検索の開始

「Select Databases」の画面で、検索対象とするファイルをクリックし、画面上部中央の「Open Selected Databases」をクリックします。右上の検索画面が表示されます。



4. 検索の方法

検索は、Wordや、著者名などから行えます。

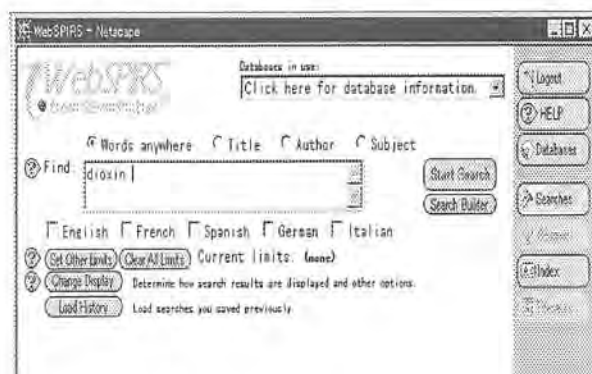
(1) Wordによる検索

「Find:」欄の上のボタンをチェックして検索するフィールドを選びます。

フィールド内容は次のとおりです。

Words anywhere: フリーテキストフィールド
 Title : タイトルフィールド
 Author : 著者フィールド
 Subject : 主題またはキーワードのフィールド

検索式を入力します。



(2) 検索式の作成

A and B : 2つの語句の両方を含んでいるレコードの検索

A or B : 2つの語句のいずれかまたは

両方を含んでいるレコードの検索

A not B : 2つの語句のうち語句Aを含み、
かつ語句Bを含まないレコードの
検索

A adj B : 語句AとBがこの順序で隣り合う
レコードの検索

A near B : 2つの語句が同じ文の中にある
レコードの検索

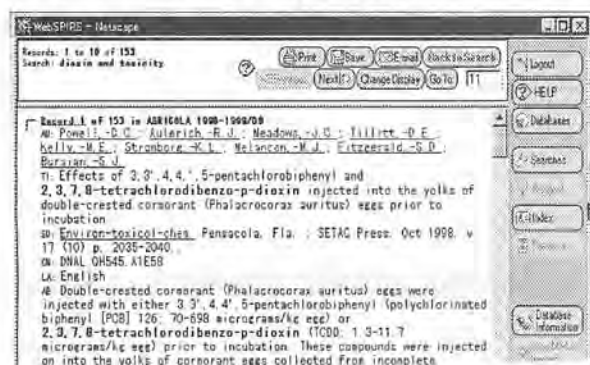
A near# B : 2つの語句が#語以内に現れる
レコードの検索

A with B : 2つの語句が同じフィールドに
あるレコードの検索

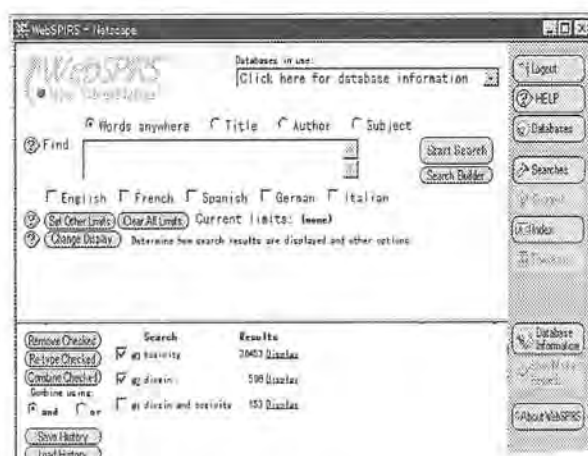
[検索例]

「dioxin and toxicity」と入力し、右横の「Start Search」をクリックすると、

153件がヒットした下記の検索表示画面になります。(画面右上の「Back to Search」をクリックすると検索画面に戻ります。)



また、それぞれの件数が知りたい場合は、検索語の入力領域でdioxinでサーチし、続けてtoxicityでサーチ、それぞれの文献集合をつくります。次に検索画面下の集合番号「#2」、「#3」をクリックし、集合番号左の「Combine using」下のandに黒丸があることを確認し、「Combine Checked」をクリックしてください。すると、検索結果153件が表示されます。



(3) 前方一致と中間一致

アスタリスク記号(*)は、0文字以上の文字列の代わりとして前方一致検索に使用します。

たとえば、dioxin*は、dioxinsやdioxin-likeなどを検索します。

ワイルドカード記号(?)は、1文字または0文字の代わりになります。前方一致検索と中間一致検索に使用できます。

(4) 著者名検索

検索画面の入力領域上の「Author」をクリックし、入力領域に「tanabe t」の様に、姓スペース名前のイニシャルを入力してください。大文字、小文字どちらでも検索できます。

(5) 検索結果の制限

検索結果が多い時は、言語チェック制限欄の下の「Set Other limits」をクリックし、制限をかけてください。発行年とかで制限できます。また、レビュー文献に絞ることもできます。

なお検索する時に検索語入力領域上部にある「Title」、「Subject」をクリックすることで、検索語がタイトル中に含まれる文献に、また文献に与えられたDescriptorsに検索語がある文献に制限することができます。

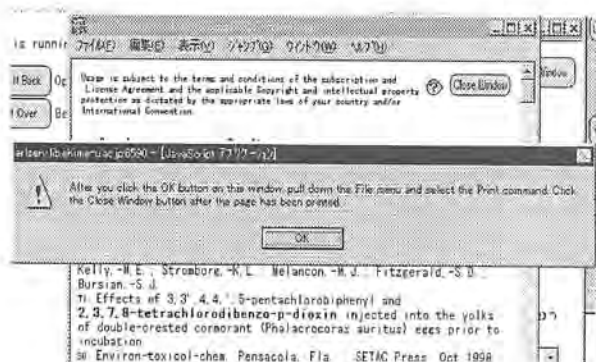
(6) 検索結果の表示について

検索結果表示画面の上部2段目の「Change Display」をクリックすると、表示をフルレコードにしたり、簡略レコード等表示の変更ができます。

(7) 検索結果の印刷

検索結果表示画面の上部の「Print」をクリックしてください。「Print Records」の画面に変わります。ここで、結果を何件、どの形式で印刷するかを指定してください。指定が終わると、画面上部の「Print Record」をクリックしてください。

下記の画面が表示されます。



「OK」をクリックし、画面上部の「ファイル(F)」をクリックしてください。Windowが表示され下部に「印刷(P)」があります。その「印刷」をクリックすると、「印刷」の画面になりますので、印刷の範囲等確認し、画面右下の「OK」をクリックしてください。印刷ができます。

なお、検索結果表示画面上部の「E-mail」、「Save」をクリックすることにより、検索結果をE-mailで送信したり、フロッピーディスク等に保存することができます。

5. 検索の終了

検索画面の右側一番上の「logout」をクリックすると、検索画面が終了します。WebSPIRS Logoutの画面の上部「ホーム」をクリックするとホームページに戻ります。

インターネットで利用できる農学文献データベースについて

農林水産研究情報センター (URL: <http://www.affrc.go.jp:8088/>) が、公開している文献データベース、「AGRIS」と「JASI」を紹介します。

(1) AGRISは、FAO (国連食糧農業機関) を中心に国際協力により作成されている文献データベースで、収録は1975年からで収録件数は1998年末で約300万件となっています。

主題範囲は、農業全般・植物学・林学・動物学・水産学・農業工学・資源・環境であり、収録記事は、逐次刊行物記事73.5%、モノグラフ25.6%で、英語文献が約60%日本語文献3.9%の構成になって

います。農学関係文献を探す場合は「Agricola」とともにこの「AGRIS」も検索してください。

(2) JASI (Japanese Agricultural Sciences Index) は、農林水産技術情報協会が発行している「日本農学文献記事索引」をデータベース化したもので、収録誌は農林水産に関連する雑誌約500種となっています。JASIでは、1981年から検索でき、収録件数は1997年3月末で約10万件となっています。日本語の農学関係文献を探す場合は、この「JASI」と図書館でサービスしています「雑誌記事索引」を併せて検索してください。

図書館の刊行物について

図書館では以下の刊行物を発行しました。

(閲覧・貸出・複写)、開館時間など項目ごとに明記してわかりやすい構成になっています。

○愛媛大学附属図書館概要 1999/2000

(Library Guide No.1)

業務電算化(システム構成図)の更新や情報検索サービスなどの項目を追加しました。

2色刷りで写真も多く掲載し、内容もリフレッシュしています。

○学外者のための利用案内

(Library Guide No.3)

5年ぶりの改訂です。利用手続やサービス



図書館を利用するためのQ & Aコーナー (その3)

—利用者のための図書館用語—

- Q：図書や雑誌を探す場合、OPAC（オーパック）で探してくださいといわれるのですが？
- A：コンピュータで検索できる蔵書目録のことです。
Online Public Access Catalogの略。
探している資料を、愛媛大学が所蔵しているかどうかはこれを検索して調べます。
詳しくは、メニュー画面の操作ガイドをご覧ください。
- Q：経済の図書なら分類で330のあたりを探してくださいといわれるのですが？
- A：図書がどういった内容なのかを、数字や記号で体系的に表したのが分類番号です。『日本十進分類法』などの分類表を使って図書の分類番号を決めています。
- Q：探す図書が図書館にない場合は、ILL（アイエルエル）で他機関に依頼しますので、担当係まで申し出てください
- いといわれたのですが？
- A：図書館間相互貸借のことです。Inter-Library Loanの略。
利用者の求めに応じて、図書館相互で図書の貸借や、文献複写を行うことです。本館では、学術情報係、各分館では、情報サービス係が担当しています。
- Q：図書を返却したら、返却期限を過ぎてますので延滞がついていますといわれましたが？
- A：借りた図書の返却期限を過ぎて、そのまま持っている場合その超過日数のことをいいます。この日数分の貸出停止の罰則が課せられるので注意してください。
- Q：参考図書は禁帯出ですといわれましたが？
- A：館内閲覧と複写はできますが、貸出ができないということです。禁帯出の図書は、図書の背に「禁帯出」と書かれた赤い丸ラベルが貼られています。

本館からのお知らせ

オンラインによる学生希望図書の受付サービスの開始について

これまで、学部生・院生が学習上必要な図書の購入を希望する場合、希望図書申込書(用紙)を図書館に提出する必要がありましたが、11月から、学部生・院生の便宜を図るためオンラインでも学生希望図書を受け付けるサービスを開始しました。

申込方法は、城北キャンパス内のパソコンから図書館ホームページにアクセスすれば申

し込みができるようになっていきます。

なお、学部生・院生から購入希望の申し込みがあった図書のうち、購入したものについては図書館ホームページに掲載し、不採用のものは本人宛に連絡するようになっていきます。

詳細は、図書館ホームページ(<http://www.lib.ehime-u.ac.jp>)をご覧ください。

医学部分館からのお知らせ

1. カラー複写機の設置について

医学部の多くの教官から要望のありましたカラー複写機を情報サービス係(2階)文献複写室に設置しました。

ただし、校費のみの利用(80円/枚)となります。

2. CD-ROMについて

1) 新規CD-ROM

CINAHL(Cumulative Index to Nursing and Allied Health Literature) CD-ROM版を導入しました。CINAHLは、看護・医療技術関連の文献データベースです。雑誌約1,900種と17種類の多様な資料を収録しています。看護において、基本的でありながら、入手しにくい資料や文書の情報を積極的に収録して

います。検索できるデータは1982年～1999年(随時更新)です。図書館でのみ検索できます。(研究室からは検索できません。)

2) 継続CD-ROM

JCR(Journal Citation Reports) CD-ROM版1998年が入りました。JCRは、「図書館だより」第56号(1999.3)でお知らせしておりますが、3,000社の7,000種におよぶ雑誌を収録しており、引用する文献と引用される文献の関係を解析することで雑誌の順位付けを可能としたデータベースです。学術雑誌に掲載された論文の引用頻度であるインパクトファクターが見られます。

利用される方は、2階カウンターに申し出てください。

附属図書館委員会

平成11年度第2回附属図書館委員会

日時 平成11年11月19日(金) 13:30~

場所 附属図書館視聴覚室

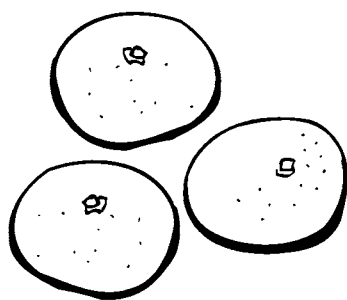
議事

[報告事項]

1. 平成11年度第1回附属図書館委員会議事要録の確認について
2. 附属図書館将来計画委員会報告
3. 学生用図書を選定結果報告
4. その他

[協議事項]

1. 独立行政法人化に伴う附属図書館の今後の在り方について
 - ①今後の学術雑誌購入の在り方について
 - ②その他
2. 新聞の保存等について
3. その他



図書館日誌(会議, 研修)

- 10月7日 国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者会議(鳴門)
~8日 図書館情報係長出席
- 10月20日 第40回中国四国地区大学図書館研究集会(鳥取)
~22日 農学部分館情報サービス係長出席
- 10月21日 第35回日本医学図書館協会中国四国部会総会(松山)
~22日
- 11月1日 韓国大学生研修団施設見学
- 11月17日 第12回国立大学図書館協議会シンポジウム(西地区)(岡山)
~18日 システム管理係長出席
- 11月19日 平成11年度第2回附属図書館委員会
- 12月2日 文部省図書館関係ヒアリング(広島)
部長・両課長出席
- 12月3日 中国四国地区国立大学附属図書館事務部課長会議(広島)
部長・両課長出席
- 12月6日 学術情報ネットワークノード担当者会議(東京)
~8日 システム管理係長出席
- 12月13日 平成11年度附属図書館学術講演会